

令和5年9月

ハトムギ栽培情報 第4号

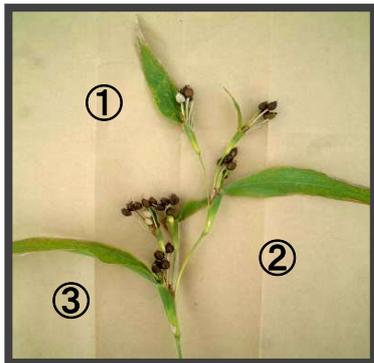
氷見市農業技術者協議会
高岡農林振興センター氷見班
氷見市農林畜産課
JA氷見市営農販売課

- ・ハトムギは、成熟期近くまで水分を必要としますので、葉巻きなどの症状が見られる場合は、入水しましょう。
- ・収穫は、茶褐色の子実割合が70~80%を目安に行いましょう。

1 収穫時期の判断

- ・収穫適期は、茶褐色の子実の割合が主幹上位3節で90%、株全体では70~80%となる頃（播種後から約130日が目安）です。
- ・収穫が早すぎると、未熟粒が多くなり、歩留りが低下する一方、収穫が遅すぎると、収穫時の脱粒が多くなり、収量が低下します。登熟状況をしっかり確認し適期に収穫しましょう。

上位3節
茶褐色の割合90%



子実の成熟具合



完熟色 ← 未熟粒 →
(茶褐色) (茶緑~緑)

2 雑草の抜き取りについて

- ・連作ほ場は、雑草の発生が多くなっています。収穫前に抜き取りを行い、製品への異物混入防止と、ほ場内での雑草種子の増加抑制に努めましょう。

3 収穫跡のほ場管理

- ・収穫後の刈り株には、ネキリムシやアワノメイガ等の害虫の幼虫が潜んでおり、連作ほ場では、害虫の発生が年々多くなる傾向があります。収穫後の茎葉は、硬化する前に、フレールモア等で裁断し、害虫の越冬源となる場所を減らしましょう。

4 来年度に向けた排水対策の徹底

- ・来年のハトムギの作付予定ほ場は、収穫後はすぐに額縁排水溝の設置や心土破碎を実施して、排水を促進しましょう。

収穫時には、ハトムギ以外のもの（ソバなど）が
混入しないように十分注意してください。